

平成 20 年 7 月 14 日

1号機サービス建屋内における空調ダクトの不具合について

東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

<概要>

(事象の発生状況)

- ・ 運転中の1号機において、平成20年7月11日、サービス建屋内(非管理区域)にある空調ダクトのつなぎ目1箇所から気体が漏れていることを確認しました。

(安全性、外部への影響)

- ・ 調査の結果、外部への放射能の放出はなかったものと考えております。

(対応)

- ・ 漏えい箇所を速やかに補修しました。
- ・ 当該ダクトの他のつなぎ目(82箇所)について点検を実施し、点検の結果をとりまとめてお知らせします。

(公表区分)

- ・ 本事象は公表区分 (信頼性を確保する観点)としてお知らせするものです。詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

運転中の1号機において、平成20年7月11日午前11時頃、サービス建屋^{*1}内(非管理区域)にある空調ダクト(以下、当該ダクト)の調査^{*2}を実施していたところ、管理区域から非管理区域を通して主排気筒に通じる当該ダクトのつなぎ目1箇所から気体が漏れていることを当社社員が確認しました。

2. 安全性、外部への影響

その後の調査の結果、当該ダクトのつなぎ目周辺には放射性物質による汚染は確認されなかったことから、このつなぎ目を通じた外部への放射性物質の放出はなかったものと考えております。

また、主排気筒放射線モニタ^{*3}、および空間線量率を測定するために発電所敷地周辺に設置されているモニタリングポストの値は、通常の変動の範囲内であることから、周辺環境への放射能の影響はなかったものと考えております。

3. 対応

対策として、当該ダクトつなぎ目の漏えい箇所について速やかに補修を行いました。

今後、当該ダクトの他のつなぎ目(82箇所)について点検を実施し、点検の結果をとりまとめてお知らせします。

以上

* 1 サービス建屋

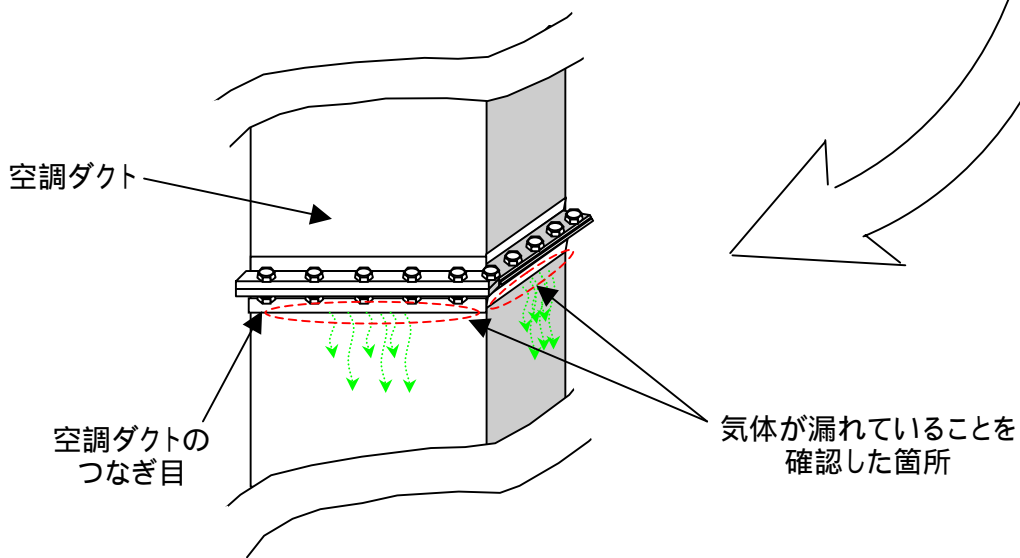
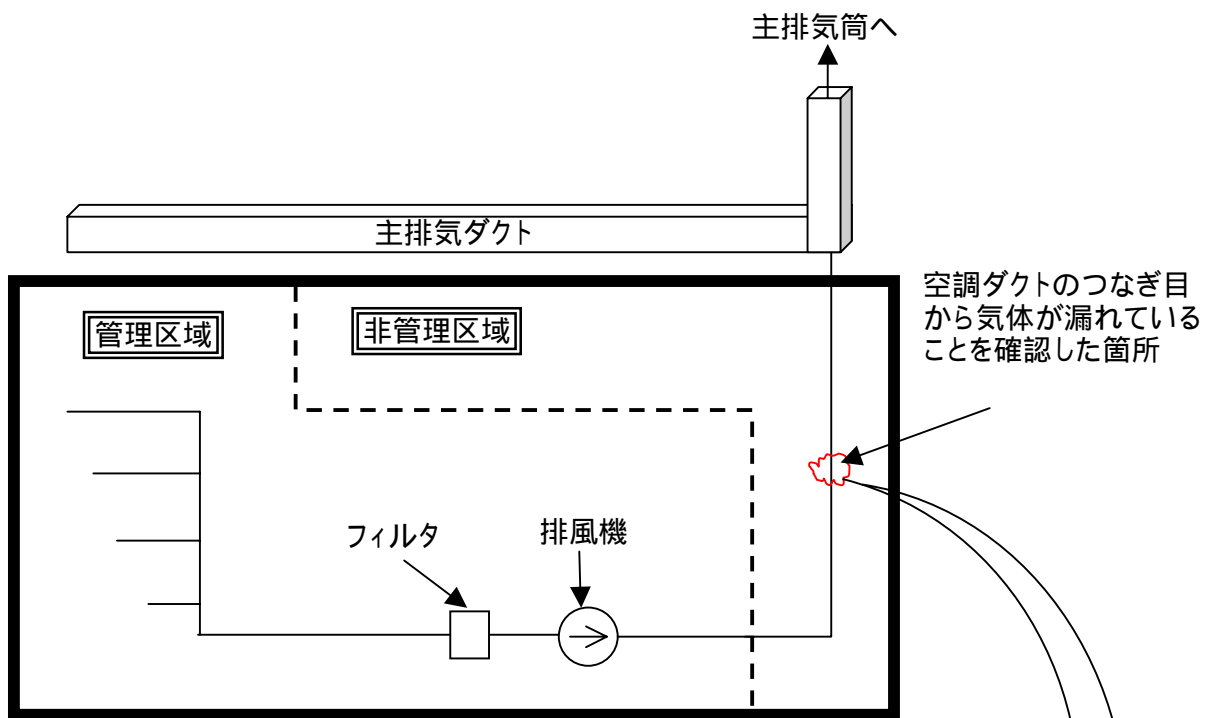
中央制御室や管理区域への人の出入りをチェックする他、作業員の休憩等の場所として使用している建屋。

* 2 空調ダクトの調査

福島第一原子力発電所5号機において洗濯設備乾燥機排気ダクトの一部が撤去され、本来構内で保管されるべきところ、構外へ持ち出した事象（平成20年2月14日、平成20年5月9日お知らせ済み）を受けて実施した、非管理区域内に設置されている汚染の可能性のある配管・ダクトについて、汚染の可能性の有無を示すステッカーを貼るなど、汚染の有無を識別する表示を行うための調査。

* 3 主排気筒放射線モニタ

建屋内の空気はフィルタなどを経由し、排気筒から放出している。主排気筒放射線モニタは環境への放出にあたり、排気中の放射線を測定する装置。



1号機 サービス建屋 管理区域空調ダクト概略図